



井原市
マスコットキャラクター
でんちゅうくん

Press Release

発信日時 令和3年11月2日

連絡先 井原市建設経済部観光交流課

電話番号 0866-62-8850

担当者名 課長補佐 藤岡健二

(件名)「星空保護区(コミュニティ部門)」の認定に関するお知らせ

1 趣旨 (目的・目標・背景など)	井原市美星町では、美星町観光協会と市が連携して、星空版の世界遺産と称される国際ダークスカイ協会(IDA(本部:米国))が設けた国際的な認定制度である「星空保護区(コミュニティ部門)」の認定を目指して活動を展開してきました。 本年4月28日付でIDAに対し認定申請を行っておりましたところ、このたび審査が終了し、以下の日付で認定した旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。 なお、認定に関するリリース(英文)は、IDAホームページに同日付で掲載されました(https://www.darksky.org/)。
2 日時	令和3年11月1日付(米国アリゾナ州現地時間)
3 場所/所在地	—
4 主催	申請主体は井原市
5 内容	市長コメント、IDAコメント等の詳細は別紙のとおり
6 参加者	—
7 特記事項	※IDA本部がある米国アリゾナ州とは、時差が16時間です(日本が進んでいます)ので、日本での発表は令和3年11月2日となりました。 ※別紙のとおり認定を記念した行事を予定しておりますので、取材方よろしく申し上げます(11月2日は14時～懸垂幕掲揚、18時～地元主催の星空観望会を予定)。
参考事項	星空保護区には現在、5つのカテゴリーがあります(加えて、新規申請受付を終了したカテゴリーが1つあります)。 ①ダークスカイ・コミュニティ(井原市美星町が認定されたカテゴリー) ②ダークスカイ・パーク ③ダークスカイ・リザーブ ④ダークスカイ・サンクチュアリ ⑤アーバン・ナイトスカイプレイス ⑥ダークスカイ・ディベロップメント(新規の申請受付は終了) IDAが認定した星空保護区の数、2021年11月1日現在で21ヵ国187箇所。内訳は、コミュニティが36箇所(美星町を含む。)、パークが107箇所、リザーブが18箇所、サンクチュアリが15箇所、アーバンが5箇所、ディベロップメントが6箇所です。 このうち日本では2箇所、西表石垣国立公園が2018年3月30日付でダークスカイ・パークに、神津島が2020年12月1日付で同じくダークスカイ・パークに認定されています。

令和3年11月2日

岡山県井原市

井原市美星町のアジア初となる「星空保護区（コミュニティ部門）」認定について

令和3年11月1日付（米国アリゾナ州現地時間）で井原市美星町が「ダークスカイ・コミュニティ」に認定されましたので、お知らせします。星空保護区としては日本で3番目、「ダークスカイ・コミュニティ」としては、アジア初となります。

認定に際しての市長及び認定機関である国際ダークスカイ協会（IDA）のコメントは以下の通りです。当該コメントはIDA ホームページ（<https://www.darksky.org/>）に英文掲載されます。

大舌勲 井原市長のコメント

「アジア初の『ダークスカイ・コミュニティ』への認定を誇りに思うとともに、長年に渡りまちの名前にふさわしい美しい星空環境の保護に取り組んでこられた住民の方々との喜びを分かち合いたいと存じます。今後も、他の模範となる地域として、美星町の美しい星空を全力で守り育て、未来に受け継いでまいることを誓います。」

アシュリー・ウィルソン IDA ダークスカイプレイス・プログラムマネージャーのコメント

「美星町の『ダークスカイ・コミュニティ』認定が、ダークスカイプレイス審査委員会の全会一致で支持されたことをお伝えすることができ、大変嬉しく思います。夜空を守るための地域社会のコミットメントと献身がもたらした、この大変素晴らしい成果を祝福します。この努力が報われた今回の朗報を、関係者のみなさまにはきっと喜んで頂けると思います。この認定は、日本だけでなく、アジア全体にとっても記念すべき出来事です。」



美星町にかかる天の川のアーチ（撮影：美星天文台）

〈星空保護区認定制度について〉

米国アリゾナ州に本部を置く NPO 団体である国際ダークスカイ協会（IDA）が 2001 年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」（和名：星空保護区認定制度）は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取組を称える制度です。

国内では、美星町ほか、自然公園・森林公園・エコパーク等として運営されている場所が認定対象の「ダークスカイ・パーク」に、沖縄県の西表石垣国立公園と東京都神津島村が認定されています。

〈「ダークスカイ・コミュニティ」とは〉

「ダークスカイ・コミュニティ」は、町や市といった自治体単位が認定対象です。質の良い屋外照明の使用に関する条例の施行、光害についての活発な教育啓発活動、地域住民の夜空保護への支援など、優れた取組が実施されており、周辺地域への模範となる地域です。

〈取組の経緯〉

このたびの認定に至るまでの取組の経緯につきましては、認定申請完了に関する本年 4 月 28 日付プレスリリース（別紙資料）をご参照ください。

【お問い合わせ先】

井原市建設経済部観光交流課 藤岡

電話：0866-62-8850

Mail：kankokouryu@city.ibara.lg.jp

「星空保護区（コミュニティ部門）」認定を記念するイベント等について

認定を機に、美星の星空のブランド価値の向上はもとより、「天文王国おかやま」としての認知度向上に向け、市内外での啓発・プロモーション活動に積極的に取り組むとともに、地域への誘客につなげてまいります。

認定発表当日の行事

※取材をお願いします。

- 1 懸垂幕掲揚**

日時	令和3年11月2日（火）14時
場所	井原市美星支所
参加者	市長、美星町観光協会関係者、市職員ほか
内容	認定を祝う懸垂幕を掲揚するもの
- 2 のぼり設置**

参加者	美星町観光協会関係者、市職員
施設	美星支所、美星天文台、中世夢が原 星の郷青空市、ペンション・コメットほか
内容	懸垂幕掲揚後に町内観光施設へ啓発用のぼりを設置するもの
- 3 星空観望会**

日時	令和3年11月2日（火）18時～20時
	※15時30分から会場準備（望遠鏡を並べる作業風景もぜひ取材ください。）
場所	星の郷青空市駐車場（※雨天時：スパーク美星）
主催	美星町観光協会
内容	認定を祝して町民全員で星空を楽しむ観望会を実施するもの ・コーラス（星に関連する歌の披露） ・解説付きで旬な天体や惑星などを観望（望遠鏡・双眼鏡） ・参加記念品の配布（先着300名）



認定発表日以後の主な行事


※取材をお願いします。

- 1 認定証書授与式**


日時	令和3年11月12日（金）11時10分～11時30分
場所	ピュアリティまきび 2階「千鳥」
参加者	IDA東京支部代表、岡山県知事、中国四国地方環境事務所長 市長、美星町観光協会正副会長ほか
内容	IDA東京支部代表から市長へ認定証書を授与するもの
- 2 首都圏PR**

期間	令和3年11月16日（火）～23日（火） ※20日は除く。
場所	とっとり・おかやま新橋館（岡山県アンテナショップ）
内容	星空保護区の取組に関する展示、天文関係者によるトークショー、 月食ライブ中継など（※地域おこし協力隊参加）
- 3 特別授業**
 - 1) 美星小学校


日時	令和3年12月3日（金）14時～14時45分
講師	国立天文台 縣秀彦（あがたひでひこ）先生
内容	一線で活躍されている講師から子どもたちに宇宙の魅力を伝える授業


 - 2) 美星中学校

日時	令和3年12月3日（金）15時～16時
講師	IDA東京支部代表 越智信彰（おちのぶあき）先生
内容	光害から地球環境を考える授業


- 4 「星空の街・あおぞらの街」全国大会**

日時	令和3年12月4日（土）14時30分～・5日（日）午前中
場所	アクティブライフ井原、美星天文台ほか
主催	環境省、岡山県、「星空の街・あおぞらの街」全国協議会
主管	井原市
内容	事例発表、講演会、星空観望会など



観光客の受け皿整備

1 星の郷まちづくりコンソーシアムの運営

令和2年10月に星空保護区認定後の持続可能なまちづくりによる地域活性化を目的として「星の郷まちづくりコンソーシアム」を設立しました。この組織は、美星町観光協会を中心に、産業、行政、金融機関、教育機関、民間団体など多様な関係者で構成しており、これまで6回の会議を開催し、地域資源を巡るフィールドワークやアイデア出しのワークショップなど、それぞれの参加者が知識や経験を生かして、現在まちづくり構想の策定に向け取り組んでいるところであります。

2 星の郷☆美星マイスター養成講座

星空保護区の認定を踏まえ、星空環境の保全に取り組む美星町をはじめ、星空観測・観望に適した環境に位置する「天文王国おかやま」の地を訪れる観光客等に対し、地域に根づく星空文化の魅力や、星空に親しむ方法を案内する「星の郷☆美星マイスター」を育成するとともに、美星町での天文学や光害の啓発普及と星空観光振興に寄与することを目的に、星の郷☆美星マイスター養成講座を開催するもの

主 催 美星町観光協会

定 員 15名

開講日 ○開講式・第1回講座

日 時：令和3年11月1日（月）19：00～21：00

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室

○第2回講座

日 時：令和3年11月8日（月）19：00～21：00

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室

○第3回講座

日 時：令和3年11月15日（月）19：00～21：00

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室

○第4回講座

日 時：令和3年11月22日（月）19：00～21：00

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室及び野外での実践トレーニング

○第5回講座

日 時：令和3年12月4日（土）19：00～21：00

場 所：野外での実践トレーニング

○第6回講座

日 時：令和3年12月6日（月）19：00～21：00

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室及び施設見学

○第7回講座

日 時：令和3年12月13日（月）19：00～21：00

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室及び施設見学

○認定試験

日 時：令和3年12月17日（金）19：00～20：30

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室

○認定証・終了証交付式

日 時：令和3年12月23日（木）19：00～20：30

場 所：井原市役所美星支所2階大会議室

※主催者の都合により、開催日時が変更となる場合があります。

認定記念ロゴ

星空保護区認定を記念するロゴマークを美星町観光協会が制作しました。
(のぼりやノベルティ、印刷物などに活用)





アジア初の認定を目指した「星空保護区（コミュニティ部門）」の申請が完了

岡山県井原市では、美星町観光協会と連携し、美星町内の屋外照明環境の改善や光害に関する啓発活動に取り組み、知事からも賛同を得て、2021（令和3）年4月28日、「星空保護区（コミュニティ部門）」の申請を行いました。



伊原木知事より賛同書を受け取る大舌市長

「International Dark Sky Places（和名：星空保護区）」とは、美しい夜空の保護・保存に取り組んでいる団体などを世界基準で評価する国際的な認定制度で、国際ダークスカイ協会（IDA）*1が2001（平成13）年に設けた制度です。認定には、屋外照明に関する厳格な基準のクリア、暗い夜空を保護する地域の取組、人々がその夜空を体験できる環境整備などが求められます。

星空保護区には、町や市といった自治体単位に認定される「ダークスカイ・コミュニティ」や自然公園・森林公園・エコパークなどに認定される「ダークスカイ・パーク」など、5つのカテゴリーがあり、日本では、2018（平成30）年3月に「西表石垣国立公園」が国内初の「ダークスカイ・パーク」に、また2020（令和2）年12月には東京都神津島が同じく「ダークスカイ・パーク」に認定されています。

この度、井原市美星町が認定を目指すカテゴリーは、認定されればアジア初となる、自治体単位が対象の「ダークスカイ・コミュニティ」です。

国内初の光害防止条例制定から30余年

人工の光があふれている日本では7割の人が天の川が見えない場所に住んでいると言われています。人工光の過度な増加は、星が見えにくくなるだけでなく、動植物の生態系や人体の健康にも影響を与えます。

美星町では、今から30年以上前に国内で初めて光害防止条例を制定し、必要な所を必要な明るさで照らすという、光の適切な使用に先駆的に取り組んできましたが、時代とともに白色LEDの普及が進み、上空への光漏れによる夜空の明るさへの影響が危惧されるようになってきました。

こうした中、美星町観光協会が中心となり、「星の郷」であることを再認識するとともに、星空保護区の認定に向け、上方向への光漏れがない星空に優しい照明器具への取替や地域への啓発活動などに取り組んできました。

官民連携による照明器具開発

認定に向けて取り組み始めた時点では、要件に見合う照明器具（防犯灯）が国内にはない状況でしたが、市と協議を重ねたパナソニック社が新たな器具を開発、2020（令和2）年1月にはIDAの認証を得ることで、この難題をクリアすることができました。



パナソニック社製「星空に優しい照明」

さらに、美星町観光協会では、2020（令和2）年1月～2月にかけて、「びせい星守プロジェクト」と題して照明器具の取替や啓発活動に係る費用をクラウド

*1 世界の天文学者・環境学者らを中心に光害問題に取り組む世界最大規模のNPO団体。1988年に設立され、米国アリゾナ州にある本部と、世界18ヵ国に64支部を有する。



ドファンディングで募ったところ、目標の3倍近い金額が集まり、市内外の多くの共感を得て取組が一気に加速しました。



クラウドファンディングが成立

- 美星町内の防犯灯の取替状況
 - ・施工時期 2020（令和2）年10月～12月
 - ・施工実績 389箇所
- 井原市所管施設における施工実績
 - ・施工時期 2021（令和3）年2月～3月中旬
 - ・施工施設 67施設
 - ・施工実績 344箇所
- 岡山県所管施設における施工実績
 - ・施工時期 2021（令和3）年3月
 - ・道路照明 7箇所（国道・県道沿い）

合計 740箇所



「星空に優しい照明」(手前)と従来の白色LED防犯灯(奥)

持続可能なまちづくりに向け

美星町では、認定後を見据えた持続可能なまちづくりを進めるため、産学官金民の多様なステークホルダーで組織する「星の郷まちづくりコンソーシアム」を2020（令和2）年10月に組織しました。参加者が知恵を出し合い、昼間・夜間の観光体験プログラムの提供や星空ガイドの養成、豊かな自然を生かした特産品や土産品の商品開発、販路拡大など、持続可能な新たな取組に果敢にチャレンジしていくこととしています。

2021（令和3）年秋頃に認定が実現したならば、周辺の模範となる地域として、国内外にこの優れた取組を発信していくとともに、少しでも多くの方に美星町に足を運んでいただき、魅力を肌で感じていただきたいと願っています。



地域資源を巡るフィールドワークの様子

【参考】

- 「ダークスカイ・コミュニティ」認定に必要な主な条件
- ・光害を防止する屋外照明の使用に関する条例が施行されていること。
 - ・屋外照明に関して、上方光束0%、色温度3000ケルビン以下などの基準に準拠するよう改善
 - ・地域住民や地域関係者の光害・星空保護への理解
 - ・光害に関する講演会、星空観望会や星空ツアーなどの体験プログラムが定期的に行われていること。